# フクダグループ行動規範

## フクダグループ行動規範改版の発行にあたって

フクダグループの全員が経営理念に基づき日々の業務のなかでこれを実践することが企業人として社会的責任を果たすことに繋がるものと確信します。そうした観点から一人ひとりが遵守すべき姿勢や行動の基本事項を「フクダグループ行動規範」に定め平成20年に発刊しました。

今回、これを現在の内部統制制度に即し整合性を図るため条文の一部を改訂し刊行しますので皆様には本行動規範を遵守し行動することをお願いするものです。

さて経済活動のグローバル化がいよいよ進展するなか、企業が果たす社会的責任の重要性の高まりは必然であり、そこで働く我々の行動が注目されることになります。とくに我々は“人”の生命・健康に携わる企業として厳しく注視される訳ですが、これは社会からの大きな期待の現れであると認識し医療機器の専門メーカーとしての責任を全うしなければなりません。

フクダグループはこれからも成長発展を続けるために全員で経営理念を実践し、事業活動に邁進することで社会の信頼と共感を獲得して参りましょう。

2013年4月1日
代表取締役会長　福田孝太郎
代表取締役社長　白井大治郎

# フクダグループ行動規範

# フクダグループ行動規範

## 1. この規範の趣旨および適用範囲

　フクダグループ各社（フクダ電子株式会社、その子会社、およびフクダ電子株式会社が実質的に経営権を有する関連会社）のすべての取締役、監査役、常勤顧問および従業員（嘱託、パート、アルバイトを含む）（以下、私たち）が、「社会的使命に徹し、ＭＥ機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する」に始まる経営理念のもとに、日々の事業活動の中で実践し、広く社会に貢献するために遵守すべき基本的事項を定めるものです。

　なお、海外拠点（現地法人、本社支店・事務所）においてはこの行動規範を基に、現地の法規類や社会通念も踏まえて行動する必要があります。国内に在籍する者が海外出張する場合も、同様です。

## 経営理念

●社会的使命に徹し、ＭＥ機器の開発を通じて、医学の進歩に寄与する

●世界のトップ心電計メーカーをめざす

●フクダグループは運命共同体として共通の目標を追求する

●社員の自己啓発と人格形成に資し、豊かな生活を建設する

## 2. 基本姿勢

　経済活動のグローバル化の進展や企業を取り巻く環境の変化により、企業の社会的責任（ＣＳＲ）を果たすことが一層要求される時代になっております。

　このような状況のなかで、医療機器専業メーカーとして社会から信頼され、「安全・安心・快適」を基軸として社会に貢献できる企業となることを目指し、本規範を定めます。

　この行動規範を私たちが積極的に実践し遵守することにより、社会的役割と責任を果たしていくよう、徹底を図ることに致しました。

## 3. 規範遵守の責任

　私たちは、業務における不正・虚偽報告や、フクダグループの利益に反する個人の行為・行動等、企業倫理上問題のある行為を行いません。

　私たちは、企業活動・業務遂行において、法令、企業倫理、社内規程・手順書、この行動規範ならびに経営理念、倫理綱領、個人情報保護方針等（以下、社内ルール）に反する行為を知った場合は、速やかにその旨を各社の適切な担当部門または通報窓口に報告します。

　本規範に違反する行為を行った場合、関係法令、従業員就業規則等の定めるところにより、懲戒処分等の対象となり得ることを認識します。

## 4. ヘルプライン

上長に相談しても解決できない場合や上長に相談することが困難な場合のために、フクダグループに対する通報窓口（フクダヘルプライン）を設け、通報や相談に真摯に対応します。対応においては、通報者の匿名性を確保し、通報者が嫌がらせや報復を受けないよう徹底を図ります。
嫌がらせや報復をした者に対して人事処分を含めて厳正に対処します。

・受付けた通報・相談等には適切な回答を行うとともに、違反行為が明らかになった等の場合は改善策を講じます。
・通報あるいは相談を行った者に対しては、通報あるいは相談を行ったことに関する不利益な取り扱いは一切行いません。
・虚偽の通報、誹謗中傷や特定の者の人格、信用等を棄損する目的での不正な通報を行った場合には、就業規則等の社内規定もしくはその他関連する法令法規に従い、相応の処分を課することがあります。

## 5. 社会との関係

私たちは、「安全・安心・快適」を基軸とし、人に優しく使いやすい差別化された製品・サービスを開発、提供し、企業活動を通じた社会への貢献を目指します。

### 5-1) 法令の遵守

企業活動・業務遂行において、各国および各地域の法令、国際ルールならびに社内ルールを遵守するとともに、社会規範・企業倫理に則り公正・透明な企業活動を行います。

### 5-2) 環境保全

私たちは、環境負荷低減のため、活動推進体制を作り、豊かな自然と安全に暮らせる環境の維持と向上に努め、環境保護に関わる法令や社内ルールを遵守いたします。

### 5-3) 地域・社会への貢献

私たちは、事業活動を行う地域社会の一員として事業活動を通じ、健全かつ安全で快適な地域社会作りに貢献します。

### 5-4) 寄付行為

私たちは、寄付行為を実施するにあたって、社内ルールはもちろん関連法令ならびに日本医療機器産業連合会倫理綱領、企業行動憲章、医療機器業プロモーションコード、医療機器業公正競争規約（以下、業会ルール）をはじめとする業界団体の規約や自主規制を遵守し、その必要性、妥当性を十分に踏まえ、厳正に処理します。

### 5-5) 政治資金

私たちは、政治資金・寄付、選挙、政治活動に関して、社内ルールはもちろん政治資金規正法、公職選挙法等の関係法令を遵守し、地域社会との関わり等から必要と判断した場合に限り最小限の範囲で厳正に処理します。

### 5-6) 反社会的行為への関与の禁止

私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える個人やグループとの関わり合いが起きたときには、社内で協力体制をとり、法令に基づき組織的かつ毅然とし

た対応を行います。

## 6. お客様、取引先、競争会社との関係

私たちは、最適・最良の製品・サービスの提供を続けていくために、世間から誤解や不名誉な評価を受けることがないよう、節度ある行動をとります。

### 6-1)最適・最良の製品・サービスの提供

私たちは、お客様の期待と要望に合わせた対応を継続的に行い、常にお客様の満足が得られる商品とサービスを提供します。

### 6-2)製品・サービスの安全性

私たちは、常にお客様の安全・安心を心がけ、関係法令に従って、製品・サービスの品質に十分配慮し、次の点を常に踏まえて、業務を行います。

・安全性・品質の維持およびその保証に対して万全を期すること
・製品・サービスの安全・安心をより向上するための技術開発を行うこと
・研究、開発、生産、流通、アフターサービスの各段階において安全性を最大限追求すること
・安全性・品質・信頼性の判断は、常にお客様の立場に立って行うこと
・苦情や要望などお客様の声は、フクダ電子グループ企業で共有し、製品・サービスの開発や改善に活かすこと

### 6-3)平易な取扱説明書の作成

誤った使用方法による事故を未然に防止するため、分かりやすく適切な警告表示をすることや読みやすい表現の取扱説明書とすることで利用者が正しい使い方ができるよう心掛けます。

### 6-4)事故再発および損害拡大の防止

事故・トラブルが発生した場合、関連法令および会社が定めたルールに従って誠実かつ速やかに対応のうえ、その原因を究明し、再発防止に努めます。

万一、フクダグループが販売・提供した商品・サービスが原因で、お客様の生命、身体もしくは財産に損害を与えた場合、または与える恐れがあると判明した場合は、法令や会社が定めたルールの決定に従って関連する情報をお客様や関係機関に対して迅速かつ分かり易く開示します。大

### 6-5)災害時への備え

私たちは、地震等の災害発生時にも医療機関等で採用していただいている機器の使用に問題が生じないよう、普段から最善の対策を想定しておきます。

### 6-6)公正な取引と自由な競争

私たちは、取引先との関係を常に公正かつ透明なものとし、同業者および競合会社との競争において、「独占禁止法」「不正競争防止法」等の法令および業界ルールを遵守し、社会倫理に従って誠実な取引を行います。

### 6-7)購入先・協力先との取引方針

私たちは、購入先・協力会社に対し、常に対等、公正な立場で接し、下請代金支払遅延等防止法等関係法令および契約に従って誠実な取引を行い、優越的地位を利用して不当な不利益を及ぼす取引を行いません。私たちは、調達等に

関する職務に関連して、利益や便宜の供与を受ける等の個人的な利益の追求を行いません。

### 6-8)販売代理店との取引方針

取引先の選定にあたっては、常に対等、公正な立場で接し、経済合理性および対象企業の法令遵守・企業倫理に対する姿勢を勘案し公正で透明な評価を行います。

### 6-9)接待・贈答に関する方針

私たちは、お客様や購入先・協力会社その他利害関係者との贈答および接待については、打ち合わせ時の飲食や冠婚葬祭など社会通念の範囲と判断される場合を除き、法令ならびに節度ある社会的常識を逸脱しない範囲で行います。

また、官公庁、自治体および政府系法人などの役職員に対し、贈賄行為を絶対に行わないことは勿論、不当な利益を得るための利益供与・便宜供与とみられる接待・贈答品の提供も行いません。

### 6-10)輸出入に関する方針

私たちは、製品、技術、役務等の輸出入取引について、「外国為替および外国貿易法」その他の国内外の関係法令および国際的な取り決めや合意による規制を遵守し、社内規程等の手続に従って適正に実施し、企業倫理上問題となる行為を行いません。

### 6-11)宣伝・広告等に関する方針

私たちは、宣伝・広告その他の営業活動、ならびに問い合わせ・修理サービスなどの対応において、関係する法令や社内ルールを遵守し、商品・サービスの品質、性能、仕様についての事実に反する表示・表現、あるいは、お客様に誤解を与えるおそれがある表示・表現は一切使用しません。また、過大景品付販売や欺瞞的な販売方法を用いません。

## 7.株主・投資家・金融機関との関係

私たちは、内部者取引規制法令およびフクダ電子グループ企業内規程を遵守し、雇用関係等を通じて重要事実を知った場合には、当該事実が公表された後でなければ、会社株式等の売買を行いません。

また、他の上場会社等の内部者から当該会社の重要情報を直接受領した場合には、当該事実が公表された後でなければ、当該会社の株式等の売買を行いません。

### 7-1)企業情報の開示

私たちは、秘密保持の必要性を考慮して、株主、投資家および他のステークホルダーに対し適切かつ公平な方法によりタイムリーに企業情報を開示し、経営の透明性を高めるとともに企業の説明責任を果たして行くために、積極的に投資家向けの広報活動に努めます。

### 7-2)インサイダー取引の禁止

私たちは、インサイダー情報の取り扱いには関係法令を遵守し、当社および取引先の株価に重大な影響を与えるような情報に接しやすい立場、あるいは業務の過程やその結果として知り得たそのような情報を利用して、情報の公表前に株式等の売買(インサイダー取引)を行いません。また、そのような情報を、

第三者（お客様、家族、友人等）に提供しません。

#### 7-3)不公正な利益供与

私たちは、特定の株主や投資家等に利益や便宜を供与しません。

### 8.社員との関係

#### 8-1)職場風土形成への方針

私たちは、一人ひとりの能力を最大限に発揮し成果をあげるために、固定化された役割意識に基づく行動を解消し、相互に理解し合い、フクダグループの継続的な発展と個人の成長を図るために、互いに協力一致し、自立と自律を図りながら主体的に行動できる職場風土づくりを行います。また、 企業に働く一員として、良識を備え、道徳およびマナーの向上に努めます。

#### 8-2)人権・個人情報保護に関する方針

私たちは、お客様、お取引先、従業員の人権を尊重し、人種、信条、性別、宗教、国籍、政治、障害の有無などを理由とした差別や不利な取り扱いを一切しません。

また、お客様、お取引先、従業員などのプライバシーを尊重し、承諾を得て入手した個人情報の取り扱いには慎重かつ細心の注意を払い、入手する際に明示した利用目的以外に利用しないよう厳格に管理します。また、内容の改ざん、漏洩が行われないように適切な保護を行います。

#### 8-3)安全・衛生に関する方針

私たちは、人命尊重を最優先し、労働関係法令、就業規則をはじめとする人事、雇用に関する社内ルールを遵守します。また、安全や心身の健康に配慮した快適でかつ衛生的な職場環境と作業環境の改善を図り、定期的な健康診断などを実施し、社員の心身に亘る健康管理をするほか、社員の健康維持・増進と疾病予防のための活動を推進します。

さらに、災害の未然防止と非常時対応に関する施策にも積極的に参画し、安全確保や危機管理について、十分な情報提供・教育・連絡体制などリスクマネジメントの強化を図ります。

#### 8-4)人事処遇に関する方針

私たちは、従業員が年齢、性別、国籍、障害等にかかわらず十分に能力を発揮できる職場環境の整備を計画的かつ継続的に行い、能力開発の機会を提供し、客観・公平・公正な人事処遇制度を充実させ、社員のモチベーション向上に努めます。

#### 8-5)ハラスメント行為の禁止

私たちは、お互いに相手の人格を尊重し、性的な言動や職権を盾にした言動など法令やモラルに反する行為を一切行いません。

また、会社や個人に対する誹謗・中傷をせず、誤解を与えるような言動など職場風土を乱すあらゆる形でのハラスメント行為に毅然とした対応を行います。

## 9.会社財産・情報の管理

私たちは、会社の各種財産（経営や技術開発・製品開発に関する機密情報、知的財産、ブランド等の有形・無形の資産および商品、機器、備品、消耗品等）を社内ルールに則って適正に管理します。在職中はもちろんのこと、退職後においても第三者への漏洩や目的外の使用は行いません。

### 9-1)リスク管理の徹底

私たちは、様々な業務に関わるビジネスリスクを理解し、リスク回避および事故の未然防止に努めます。何らかの危機発生の際には、社内ルールに則って迅速に対応します。

### 9-2)会社資産の管理および適正使用

私たちは、会社の財産（経営や技術開発・製品開発に関する機密情報、知的財産、ブランド等の有形・無形の資産および商品、機器、備品、消耗品等）を最大限に活用し、業績と利益を上げることに努めます。

また､会社の財産を社内ルールに則り適正に管理し､私的用途に流用する等､本来の事業目的以外に使用しません。

### 9-3)機密情報の取り扱い

私たちは、個人情報を含む会社の機密情報を在職中のみならず退職後も、社内ルールに則り厳重に管理し不正または不当に利用しません。

また、業務上知り得たお客様、購入先、その他の取引先等の情報を正当な目的以外に使用しないとともに､不正な方法により機密情報を入手しません。

PC 等の電子情報機器・ネットワークの利用にあたっては、社会や社内のルールに則り、不正使用や他者への迷惑発生を防止します。

### 9-4)知的財産権の保護と活用

私たちが事業活動で得た特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権等の知的財産権およびノウハウは、企業の重要な財産であると認識し、積極的に知的財産の創出に努めます。

業務を通じて知的財産を創出した場合には､社内ルールに則り遅滞なく会社に届け出るとともに会社の特許出願等に協力し、適切な維持管理を行い、他者に不当に侵害されないよう、その保全に努めます。

### 9-5)他者の知的財産権の取り扱い

私たちは、他者の保有する知的財産を尊重します。また、不正に入手した他者の機密情報を使用すると、法的責任を問われる可能性がありますので、故意に侵害または使用を行いません。

### 9-6)使用した経費の精算や売上計上の手順厳守

私たちは､使用した経費の精算や売上計上､たな卸等の決算に係る手続きは､会社が定める手順に沿って行います。

## 10. 行動規範と内部統制報告制度（Ｊ－ＳＯＸ）

内部統制報告制度（Ｊ－ＳＯＸ）による要求の基本は、以下の４点がグループ全体でなりたっていて､「決算や会計の過程と結果が信頼できるもので、正確である」と、証明することにあります。

・財務報告の信頼性
・資産の保全
・事業活動に関わる法令等の遵守
・業務の有効性および効率性
私たちはこの行動規範に沿って対応することにより、これら４点を確実なものにします。

## 11. セルフチェック

私たちは日頃、こころがけて以下のセルフチェックを各自自ら行って行動規範に対応できているか確認します。

**【セルフチェック】**
あなたの行動についてチェックしてみて下さい

１）経営理念に沿っていますか？ □
２）法令、会社の規程・規則に違反していませんか？ □
３）社会的な良識に照らして問題はありませんか？ □
４）フクダブランドを傷つけていませんか？ □
５）家族に見られて恥ずかしくありませんか？ □

## 12. 改廃

本行動規範は、法規類の制定改廃、社会通念の変化等に応じて改定する。改定ならびに廃止は、本社人事総務部が起案しコンプライアンス・リスク管理委員会での審議を経て、社長決裁をもって行う。ただし、コンプライアンス・リスク管理委員会にて取締役会での決裁の必要が認められた場合には、取締役会の決議による。
（平成 25 年 4 月 1 日付け本社職務権限表「１．③行動規範および内部統制運用ハンドブックに関する事項」参照）

以　上

改訂履歴
平成 20 年 1 月 1 日　制定
平成 21 年 11 月 1 日　改定
平成 25 年 4 月 1 日　改定